

フィンランド

オウル大学校

所属：国際商学部 国際商学科

今学期は4科目履修することとなった。オウル大学は四学期制で、Period1,2,3,4に分かれている。横浜市立大学の第1,2,3,4クォーターみたいなもの。オウル大学では何限という概念がなく、始まる時間がごちゃごちゃのため、授業が重ならないように自身で管理する必要がある。第2クォーターは講義数を増やすつもりだ。

Internationalization

インターナショナルリゼーションとは、国際化の理由・方法、産業の国際化というような企業の国際化・グローバル化のプロセスの理解を深める授業。

<授業形態> 主に、教授がスライドを使って進める一斉授業（オンライン）

<学生数> 約80人

Survival Finnish

週2回のフィンランド語の授業。挨拶など基本的なことを学ぶ。必ず宿題がある。ただ難しくはない。また、英語やスペイン語などとは全く似ていないため、一から学びが始まる。

<授業形態> 一斉授業&グループワーク（オンライン）

<学生数> 25人

Tandem

交換留学生と日本語を学びたいフィンランド人が週1回45分程度交流をし、日記感覚のレポートにまとめることでクレジット（単位）を取得できるものだ。私は、フィンランドと日本のハーフの子とマッチしており、その子と毎週街へ遊びにいきそれをレポートにしている。最初のマッチした人と3、4ヶ月は交流するため、そのまま交際する人も多い。

<形態> 会話・交流マンツーマン

<学生数> 10ペアほど

Cafe Lingua

タンデムのグループワークバージョン。毎週水曜日の17時から自分が学びたい言語のブースに行き交流をする。その活動を13回するとクレジットがもらえるものである。課題はなく滞在時間も定められていないので暇があればいき、出会いの場として活用する人が多い。

<授業形態> 会話・交流

<学生数> 約80人週により変動